

MRI 検査ができるペースメーカー

最近 MRI 検査ができるペースメーカーができました。この機能を持つペースメーカーでは植え込み後 6 週間たったら、特別な操作のあと、MRI 検査を受けることが

できます。特別な操作とはペースメーカーの設定を一時的に変更して MRI の磁場に対応できるようにすることで、やり方はペースメーカーチェックのときと同じです。



このペースメーカーはペースメーカー本体だけでなく対応するリードも特別なものでなければなりませんので、古いリードが入っている方には使うことができません。

また、このペースメーカーが入っていても、施設認定のある施設でないと特別な操作ができず MRI 検査をすることができませんので、検査を受けるときには主治医に確認しましょう。

この辺りでは米沢市立病院と公立置賜総合病院が施設認定をもっています。

心臓以外の手術を受けるときの注意

ペースメーカーの植え込みを受けている方が、ほかの病気で手術を受ける場合があります。このときペースメーカーの設定を変更する必要がある場合がありますので必ず主治医に申告し、循環器内科の受診を受けましょう。

よくあるのが大腿骨頸部骨折の手術や
胃、大腸の手術などです。



手術時に使用する電気メスなどによって、ペースメーカーが誤動作を起こさないよう手術直前にペースメーカーチェックのようなことを行います。手術後は直ちに元の設定に戻すので心配はありません。眼科の手術(白内障やレーザー治療など)や抜歯などでは必要ありませんが、何かトラブルが発生した時のために、執刀医にはペースメーカーが入っていることをちゃんと知らせておきましょう。